

ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 〒104-0033 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル Tel.(03)3551-6218
ロシア東欧経済研究所 <http://www.rotobo.or.jp> [年間購読料・送料共前納 18,000円]

2000年(平成12年)9月25日 No. 1171

目次

2000年上半期のロシア自動車産業	坂口 泉 1
CIS諸国通貨の最新為替レート	13

2000年上半期のロシア自動車産業

はじめに 2000年上半期のロシアの主要メーカー別の自動車生産台数と、主要外国メーカー別の新車販売状況を示す数字が入手できたので、これらの数字を軸に、2000年上半期のロシア自動車産業の状況を報告する。

1. ロシアの自動車メーカーの状況

1. ロシアの主要メーカー別の自動車生産動向

以下の第1表、第2表に示すように2000年になってからもロシアの自動車生産は好調で、売行き不振に苦しむMoskvichや事実上の倒産状態にあるタガンログ自動車工場等の一部の例外を除き、ほとんどの工場が生産が伸びている。

ただ、後で詳しく報告するが、生産が好調なメーカーでも、財務状況は非常に厳しい。たとえば、AvtoVAZ(ボルガ自動車工場)では赤字の状態が続いているし、GAZ(ゴーリキー自動車工場)も巨額の債務の返済に苦慮し始めている。材料費の高騰や巨額の新車開発費(その大部分はドル建ての費用である)が大きな負担となり、自動車の販売価格を極力抑え販売の維持・拡大を図るといった戦略がもはや限界に近づきつつあるとあってよい。換言すれば、ロシア自動車産業においては、1998年8月のルーブル切り下げ効果が明らかに薄れつつあるとあってよい。